

月報	日本キリスト改革派 横浜中央教会	1月号 2012年1月15日
----	---------------------	-------------------

## 2011年度会計報告概観

立石章三

昨年の教会会計が執事会から小会に報告されました（4頁の会計報告）。これを見ますと、経常会計は16万円ほどの黒字決算となっています。昨年の決算がマイナス21万円で、ファンド会計から補填しなければならなかったことを考えますと大きな感謝です。ここでは融資金会計と大中全会献金について皆様に感謝したいと思います。

### 融資金会計

横浜中央教会は1999年に現在地56坪を購入し、2001年に現会堂を建築しました。土地と建物にかかった費用の総額は1億3千万円でした。私たちは教会内部、東部中会、東京教会、CRCそのほかから、合計約6600万円を借金しました（この内1000万円はつなぎ融資金）。2008年に現在の牧師館のマンションを2300万円で購入し、この時新たな融資金960万円を募りましたので、実質的な借金は合計で6500万円でした。これはすべて無利子で、その後東京教会が500万円の借金を棒引きにしてくださるなど、順調に融資金返済を続けています。昨年は教会外部のNさんに200万円、CRCに100万円、合計300万円返済しましたので、現在の残債は2550万円です。私たちは東部中会から、そして教会外部から、大いに助けていただいたのです。

融資金残債の内訳は教会内部が550万円、Nさんが300万円、CRCが1700万円です。CRCからの借金は、CRJM（クリスチャン・リフォーマト・ジャパン・ミッション）ファンドと名前が変わり、東部中会の中に組み込まれましたので、私たちはこの返済金を中会に送金しています。当初はすべての借金を私の退職年（2019年）までに返済する予定でしたが、個人からの借金をできるだけ早めに返したいので、CRCへの返済は当初の予定より少し延長することを小会は考えています。CRJMファンドは東部中会の開拓伝道や、弱小教会の会堂修理費などの時に貸し出される基金ですが、牧師不足の現在では新たな開拓伝道の予定がありませんので返済の緊急性がなくなっています。

### 大中全会献金

大中全会献金とは大会と東部中会に、私たちの教会が納める負担金のことです。大会負担金は会議費、委員会費、札幌伝道所・九州の諸伝道所・沖縄伝道所などへの援助金、神学校経営などに使われます。中会負担金は会議費、伝道所への援助金、委員会費など、中会全体の伝道活動に使われます。

負担金の計算は、その教会の現住陪餐会員数と経済力に応じて決定され、それぞれ請求書が来ます。私たちの教会は昨年、大会・中会へ合計158万円を送金しました。

一般会計の収入合計が 1130 万円ですから、実に全収入の 14%です。そのほかの、神学研修所や外部への援助金、大震災義援金などを合計すると 20%近くになります。それだけ横浜中央教会は大中会や外の世界に貢献しているのです。大中会献金は 2009 年 103 万円、2010 年 118 万円、2011 年 130 万円と増加していますので感謝です。

今年はもう少し励んでいただいて、大中会献金の予算を満たすことが出来たら幸いです。この負担金の合計額を現住陪餐会員数で割ると一人当たり年 3 万 1 千円で月額 2580 円となります。横浜中央教会の会員になった方には、大中会からこれだけ払ってくださいと期待されているわけです。会員の方は、この金額が当教会から外へ送金される負担金であることをもう一度認識していただいて、できるだけこの金額を励んでいただきたいと思います。もちろん会員の中には収入のない方もおられるのですから、それは教会全体で支えれば良いのです。

何年か前の調査によりますと、日本人が個人とする慈善献金額は 1 年間一人当たり千円未満という微々たる額で、それも歳末助け合い運動や赤い羽根募金の時だけに限られるそうです。去年は大震災への募金で少し増えたようですが、まだまだ日本人には助け合いのための募金は定着していません。そんな中で私たちがこれだけの金額を外へ献金することができたことは大きな喜びです。

教会会計のあり方は、牧師給、教会内部の伝道費や経費、教会外への負担金や慈善献金、この三つが等しくなるのが理想と言われてきました。しかし東部中会でも大会全体でも、牧師給をやっと払える、エンゲル係数の高い教会が多いのです。この傾向はこれからも続くでしょうし、会員の高齢化が進んでいますので、弱小教会や地方の伝道所を支えるための負担金をもっと増えるでしょう。現在私は中会の伝道委員ではありませんが、東部中会全体の伝道費用を再考しなければならない時機になっています。横浜中央教会も、中会を一層支える教会としての見識が要求されます。

今年私たちの教会は 24 周年を迎えます。来年の 25 周年にはどんな記念行事をするのか、企画委員会にはそろそろ考え始めていただきたいと思います。2014 年には中会婦人会の当番教会としての責任も期待されています。今年は内的にも外的にも成長していくことが出来るよう祈りましょう。まず私たちの足元から、つまり毎週の礼拝出席による充実した信仰生活が最も基本です。

## 礼拝当番について

1 月の定例会で礼拝当番について見直す協議をしました。混雑したクリスマス礼拝の様子を見ていて、礼拝当番についてもう少し工夫が必要ではないかという観点から現行の「礼拝当番心得」を見直すことが決まりました。礼拝当番とは結局、礼拝が厳粛に、かつスムーズに行われ、新来会者の方が礼拝にすぐ溶け込めるよう配慮するのが仕事です。皆さんもお気づきの点がありましたら、執事にご連絡ください。

特に現在では、新来会者に渡すもので『キリスト教子ども教理問答』増えています。  
新来会者が来られたら、席に誘導し、近くに会員にその方が新来会者であることを告  
げて配慮するよう指示することに気を付けていただきたいと思います。

下記に掲げましたものは2010年に執事会が作成した礼拝当番心得です。会員の方、  
特に礼拝当番をされる方はどなたもこの心得をもう一度お読みください。

礼拝当番の奉仕					
					2010. 1. 17
◎10時又は礼拝開始30分前までに来会ください。					
◎当日の週報に目を通してください。⇒聖書箇所、讃美歌、信仰告白					
用意するもの	新来会者に渡す物	終了後元に戻す	置き場所	保管場所	備考
週報	◎	—	受付		牧師が作成
聖書	○	○	受付	週報ポストの下	夕拝でも使用するので5セットくらい受付に残しておいて下さい
讃美歌	○	○	受付	週報ポストの下	
歌集	○	○	受付台の下	礼拝室後方本棚の下	週報で使用の有無を確認
信仰告白	◎	○	受付	週報ポストの下	週報で使用の有無を確認
式文	◎	—	受付	幼児室キャビネット	
受付表	—	—	受付	幼児室キャビネット	受付表から出席者名簿に記入
新来会者カード	◎	—	受付	幼児室キャビネット	
新来会者記念品	◎	—	受付	幼児室キャビネット	牧師著作「しゃきつと歯ごたえ」
出席者名簿	—	—	幼児室キャビネット上	牧師室	
ボールペン	—	—	受付	幼児室キャビネット	3本位用意
献金袋	—	執事が担当	講壇前か脇	執事室	当番執事が用意
説教者の水	—	執事が担当	講壇	1Fキッチン	当番執事が用意

#### 行っていただきたいこと

- ★出席した会員全員に、出席表に○を記入させる。出席表に名前のない方は氏名を記入していただく。(礼拝が始まって)
- ★新来会者以外の方には、週報と、持ち合わせのないものを渡して下さい。
- ★礼拝前祈祷会、(1階小会室)に参加して下さい。

#### 新来会者が来られた時

- ★とりあえず、出席表に名前だけ記入してもらってください。(礼拝が始まって)
- ★上記のものを渡して下さい、◎は必ず渡してください。
- ★席へ案内してください、席詰め誘導、教会員の横。

新来会者カードは、受付場のエントランスが狭いため混雑の原因となるので、席へ案内してから記入してもらってください。報告のとき紹介するので、それまでに回収して自ら紹介するか司会の長老に渡して下さい。礼拝が終わったら執事に渡して下さい。

#### 礼拝中

招きの詞から罪の赦しの宣言まで入退場を制限する。公同の祈りが始まる前に扉を閉める  
献金 ⇒ 担当執事と2人で集めます(お祈りは教会員の方でお願いします、出来ない時は当番執事に申し出てください。牧師がこどもを指名する時もあります)

#### 礼拝終了後

式文、信仰告白、歌集などを元の場所へもどしてください。

受付表とは別に、出席者名簿へ記入してください。

記入済みの新来会者カードは執事に渡して下さい。